

1. 学校教育目標

郷土を愛し、共に学び、心豊かでたくましく未来を生き抜く子どもの育成

【めざす児童像】

【郷土を愛し】

- 校区をはじめ柳川市のひと・もの・ことに主体的に働きかける子
- 故郷を誇りに思い、愛着を持つ子

【共に学ぶ】

- 意欲的に学び続け、自分の伸びを実感できる子
- 他者とかかわりながら、自他共に高めようとする子

【心豊か】

- 自他のよさを認め合い、自他への優しさと思いやりを持つ子
- 真理や正しさを求め、いじめをしない、させない心、自然を愛する心を持つ子

【たくましく未来を生き抜く】

- 将来の夢や希望をもって、諦めないで粘り強く取り組む子
- 明るく、元気よく友だちと外遊びなどをし、自ら心身を鍛える子

2. めざす学校像、教師像

①めざす学校像

～ ウェルビーイングを醸成する垂見小学校 ～

〈挑戦と成長〉・〈つながりと感謝〉・〈諦めない〉・〈自分らしさ〉などから感じる『幸せ』

- 明るい挨拶が響き合い、つながり、自分らしく主体的に、諦めないで学び続ける学校
(児童が主人公)
- 目標に向かって日常的・組織的に「挑戦→評価→改善」のサイクルが機能し、成長を実感する学校
(成果をあげる)
- 安全・安心な教育環境が整い、保護者・地域とつながり、感謝の思いを持ち、信頼関係を築く学校
(地域と共に)

②めざす教師像

- 子どもに学び、よさや伸びを見つけ、認め、安心と自信をもたせる学級経営を推進する使命感と熱意
ある教師 『情熱』
- 日常授業力(教育課程経営力)の向上をめざし、謙虚に学び続ける教師 『授業力』
- リーダーシップとメンバーシップを発揮し、組織的な職務遂行に努める教師 『協働力』
- 自他のウェルビーイングを尊重する教師(教師としての魅力・やりがい) 『幸せ』

3. めざす授業像

自ら考え、自ら挑戦する子どもの育成

自分で考える

- 課題に自ら働きかける
- どんな、見方考え方をすればいいのか自分から学び取る

自ら挑戦する

- 自分から学び取るためにどう動くか
- 分からない時・自信がない時どうするのか

子どもの育成

- 「内容や方法や進め方」を自己選択・自己決定し、自分から挑戦する
- 「やってみたい」「やってみよう」「わかって」「何とかしよう」

○個別最適な学び・協働的な学びをめざす

- (1)個別最適な学びにつながる「めあて・学び方を自分で考え、自己決定する」の体験を積み上げ、主体性を育む。
- (2)単元の終末に「活用」の授業を位置づけ、思考・表現を高める活動を行う。
 - 国語科:習得した言語活動を図書館との関連や生活・総合や行事等へ活かす活動
 - 算数科:習得した見方・考え方を活用する問題解決学習
- (3)単位時間または単元終末に「学びの振り返り」を位置づけ自己調整に活かす。
- (4)個別最適な学びを効果的にするとともに、その過程で協働的な学びを促すICT活用(タブレット・電子黒板)学習過程の工夫を行う。

○集団づくりで安心して発言・行動できるように

【集団づくり】(子ども一人一人が対等で、大切な存在であることを示す)

- 学級と個人のゴール」を共有、主体的な集団の質を高めていく。

【雰囲気づくり】(教師が明るく、笑顔で、前向きに、共感し、時には厳しく)

- 肯定的で前向きな反応を返す ※受け入れる聴く態度と良さを見つける態度
- リーダーシップを発揮できる役割をたくさん与える
- チャレンジ&失敗、助けを求めるのは当たり前の日常 ※挑戦と失敗は宝

【関係づくり】(子どもへの愛を基盤とし、よさを認め、方向性を示す)

- 「教師と子ども」「教師と集団」「子ども同士」の関係作り